

わがまちに興味のある方はこちら！



各わがまち支えあい協議会では、毎月1回活動者が集まり、話し合いをしています。
身近な場所で行われている活動を知る機会になりますので、ぜひご参加ください。

文化センター圏域

名称・開催日時・会場・対象エリア

中央

「中央ささえあいの会」対象エリア:八幡町、日吉町、宮町、寿町1・2丁目、府中町、天神町1・2丁目、宮西町1丁目、幸町1・2丁目、緑町、晴見町1・2丁目
1月10日(土) 13時00分～15時00分 会場…ふれあい会館

白糸台

「ささえあいの会～白糸台・若松町・清水が丘・小柳町～」対象エリア:小柳町1・3丁目、清水が丘3丁目、白糸台(車返団地を除く)、若松町1・2丁目
1月19日(月) 13時30分～15時30分 会場…白糸台文化センター

西府

「にしふエリアささえ愛の会」対象エリア:東芝町、西府町、日新町1～4丁目、本宿町、美好町(3丁目の一部)
1月9日(金) 13時30分～15時30分 会場…西府文化センター

武蔵台

「武蔵台・北山・西原ささえあいの会」対象エリア:北山町、西原町、武蔵台
1月14日(水) 13時30分～15時30分 会場…武蔵台文化センター

新町

「新町ささえあいの会」対象エリア:浅間町、天神町3・4丁目、幸町3丁目、新町、栄町、晴見町3・4丁目
1月13日(火) 13時30分～15時30分 会場…新町文化センター

住吉

「住吉・分梅・南町ささえあい協議会」対象エリア:住吉町、分梅町2～5丁目、南町
1月6日(火) 10時00分～11時30分 会場…住吉文化センター

是政

「わがまち支えあいの会～小柳・是政・清水が丘エリア～」対象エリア:小柳町2・4～6丁目、是政、清水が丘1・2丁目
1月21日(水) 9時30分～11時30分 会場…是政文化センター

紅葉丘

「わがまち ありすの会～朝日・多磨・紅葉・若松～」対象エリア:多磨町、紅葉丘、朝日町、若松町3～5丁目
1月20日(火) 13時30分～15時30分 会場…紅葉丘文化センター

押立

「押立・車返ささえあい協議会」対象エリア:押立町・車返団地
1月17日(土) 10時00分～12時00分 会場…押立文化センター

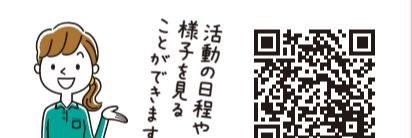
四谷

「ささえあい四谷」対象エリア:日新町5丁目、四谷
1月17日(土) 13時30分～15時30分 会場…四谷公会堂(四谷4丁目6-8)

片町

「かたまち支えあいの会」対象エリア:片町、寿町3丁目、日鋼町、分梅町1丁目、本町、宮西町2～5丁目、矢崎町、美好町(3丁目の一部を除く)
1月28日(水) 13時30分～15時30分 会場…片町文化センター

各わがまち支えあい協議会の
ホームページはこちらから▼



福祉施設や有償のボランティアに興味のある方はこちら



ボランティア・協力会員入門研修



ボランティアは無償、協力会員は1時間700円からの活動費が支払われる有償のボランティアです。

日時

① 1月21日(水) 10:00～12:00
② 2月21日(土) 13:30～15:30

場所

いずれもふれあい会館1階
ボランティア活動室
(会場は変更になる場合があります。)

定員

12名



ボランティアと在宅福祉助け合い事業の
協力会員、それぞれに登録ができます。
協力会員の登録にあたっては、印鑑・
身分証・介護や保育の資格をお持ちの
方は証明書のコピーを受講時にご持参
ください。



活動するまえにちょっと話を聞いてみたい方はこちら

社会福祉法人
府中市社会福祉協議会 TEL: 042-364-5382
地域活動推進課まちづくり推進係 FAX: 042-362-9090
メール: fuwari@fsyakyo.or.jp

https://www.fsyakyo.or.jp/
受付時間: 月～土曜日(祝日・臨時休館日を除く)
午前8時30分～午後5時15分



ふわり
社協マスコットキャラクター

明日からできる地域活動情報紙/ Connect コネクト ふちゅう

発行:社会福祉法人 府中市社会福祉協議会

2025
December
Vol. 10
Take Free

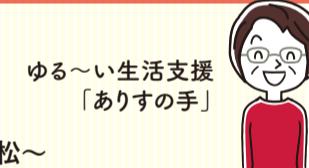
動く人がいる。
変わるものがある。



活動インタビュー①

Activity interview

ちょっとしたことを
手伝ってもらいたい



わがまちありすの会～朝日・多磨・紅葉・若松～

Q1:「ありすの手」の活動内容は?

Q1:「ありすの手」の活動内容は?

小林:生活の中でちょっと困った時に、近所の人でできる30分ほどのお手伝いをしています。

Q2:どのような地域課題をきっかけに、活動が始まったのでしょうか。

小林:わがまち支えあい協議会の住民同士の話し合いの中で、色々な困りごとが出てきたけど、買い物に困る方が多いことに注目しました。買い物ができる場所が歩いて行ける範囲にないエリア。そこから実際に困っている人がどのくらいいるのかを調べるために、若杉会(シニアクラブ)にアンケート協力をもらいました。115人に配って、87人が答えてくれて、その中で買い物に不便を感じている人が63名もいました。最初は移動スーパー買い物ツアーや検討したんだけど、なかなか前に進まなくて、買い物代行から始めました。ここが入口だったのかな。そのうちに、他の困りごとがあることにも気づき、色々なお手伝いをすることになりました。

Q3:活動の中では、どのような成果を感じられますか。

小林:ほんとにちょっとしたことを頼める仕組みはこれまで無かったのではないかと思います。こんな簡単なお手伝いで良かったのかなと思うけど、やっぱり「ありがとう」と言われると嬉しいです。それから、普段知らない方と話す機会ってないから、お手伝いをしながらお喋りができるのは楽しいですね。お手伝いからつながりができる、会の活動に参加してくれるようになった方もいます。

この活動の後盾には協がいて、お手伝いに行く時も1人ではないし、相談しながらできるので、参加しやすいです。大きな責任があるような仕事ではないので気楽さもありますし、色々な方にやってみてほしいと思います。私自身も年を重ねてくと、「頼みたいなあ」と思うようなことが出てくるものだなと感じています。ちょっとした事で困ったら、気軽に相談してみてほしいです。上手に利用してもらえると、暮らしやすいまちになるなあと思っています。



活動インタビュー②

Activity interview

楽しみながら地域とつながれる
居場所がほしい



「みんなのつどいしらいと」

Q1:「みんなのつどいしらいと」の活動内容は?

Q1:「みんなのつどいしらいと」の活動内容は?

榎本:「楽しく身体を動かすこと」をテーマとし、健康体操・手のひらバー等を行っています。その他、夏にはスイカ割り、お正月にはかるたなど、季節の行事を取り入れています。

Q2:どのような地域課題をきっかけに、活動が始まったのでしょうか。

榎本:メンバーと地域で気になることについて話をす中で、「お子さんと関わる機会や交流がない」、「買い物途中やバス停でたたずんでいる高齢者の姿が目立つ」といった声が挙がりました。

一方で、「地域のつながりをつくるために何かしたい」「自分も楽しめたり、健康のためになる居場所をつくりたい」という前向きな意見も多くありました。そこから、お子さんや高齢者と顔見知りになれる居場所を作る動きにつながったよう思います。

Q3:活動の中では、どのような成果を感じられますか。

榎本:「みんなのつどいしらいと」は今まで関わりのなかった方が知り合いになる場となっていると感じます。リピーターが多く、日にちを覚えて楽しみに来てくださっている方が多いです。近くにお住まいではなくても、「自分にはここが合っているんだ」と足を運んでくださる方もいます。最初は人と話したがらず、殻に閉じこもっていた方から、最近「体操だけでなくみんなでお喋りをしたい」とリクエストいただくこともあり「楽しいわ」という声をいただくことが嬉しい、何より励みになります。



世代を超えた交流の場にもなっています。公園内にある自治会館で開催しているので、公園で遊んでいる親子に声をかけて参加されることもあります。スイカ割りのイベント時には20名以上のお子さんが集まり、みんなで一緒に食べることで親近感がわき、つながることができます。

「子どもたちを見ていると元気が出る」「刺激がもらえる」と参加者からの声もあります。これからも、地域と時代の移り変わりに合わせて、時には変化もさせながら、この居場所を続けていきたいと思っています。

「困りごと」を「地域の力」で解決! ~わがまち支えあい協議会が始めた活動~



「わがまち支えあい協議会」のしくみ

身近な生活圏域の中で地域住民や様々な団体が地域の「困りごと」に気づき、それを我が事として共有し、協力して解決していくしくみです。活動が立ち上がるまでの一例をご紹介します。

困りごと



住民

終活してるんだけど、物を捨てることが大変。どうしたらいいのか。



保護者

通学路にあるコンビニが子どもたちの登校時間に車の出入りが多く心配。



活動者

ご近所さん同士で話す機会がなく、孤立している人や孤独を感じている人が多い。



活動者

活動の地域への浸透が課題。活動を続けて、地域の力になるためにもPRが不可欠と思っている。

話し合い

▼定例会風景



わがまちメンバーよりガレージセールを開催できればいいのではと発案があり、他団体が行うガレージセールを見学。その後開催することになりました。



わがまちメンバーである民生委員より、定例会で困りごとが共有され、住民ができることとして「見守り活動」に取り組むことになりました。

わがまち支えあい協議会
地域住民で組織されている

地域福祉コーディネーター
様々な地域資源と連携しながら、解決に向けてお手伝いします。



「実家を開放するので、地域の交流の場として活用してほしい」という方と出会い、居場所作りをはじめました。



PR強化のため、会の名前とカバのイラストが入ったビブスを作成。人が集まる場所を選び、ゴミ拾いをしながらチラシを配る活動を始めました。

解決策

ゆずり♡マーケット



活動者

お子さんを連れた家族が来てくれました。思い出の品が活用されると思うと嬉しいです。会のPRにもなりました!

コーディネーターとは?

困りごとを抱えている方に寄り添い、解決に向けて一緒に考えます。また、地域の住民が困りごとを地域全体の課題として捉え、解決できるような「支えあい」のしくみづくりをお手伝いしています。



ふわり

八小登校時の見守り



活動者

低学年の頃はいつも一人で列の最後を歩いていた子が、学年とともに成長していく姿を見てやりがいを感じています。

昼カフェ・つながり



活動者

お互いの特技を生かし、知り合うことで、交流の場が広がっています。

参加者

初参加は不安でしたが、皆さんの温かさで毎月の楽しみになりました。

カバさんのおそうじ



活動者

すごい活動だわ。これなら自分にもできそう!

わがまち支えあい協議会の活動に関する問い合わせは裏面へ▶